

寒さが厳しい季節です。家庭の電気・ガス・灯油の光熱費は夏場の1.8倍くらいとか。専門家のアドバイスを聞いて、光熱費の削減や見直しに挑戦してみようというエコ講座が、先ごろ上田市の西部公民館で開かれました。

家庭の省エネ「エ」講座

光熱費を10〜20%減らせます

講師／自然エネルギー上小ネット会長・末広繁和さん

「家庭の省エネ」と題した講座は、自然エネルギー上小ネット会長



の末広繁和さんが講師。この日は、参加者約20人が光熱費を減らすための工夫やそのやり方について学びました。

末広さんは「地球温暖化を進めているのはCO₂の発生。各家庭のCO₂は10年前に比べると34%も増え、対策は急務」と話し始めました。長野県の世帯当たりのCO₂排出量の多くは、電気・自動車



燃料・灯油であり、家電では冷蔵庫・照明器具・テレビの順に発生量が多いと説明しました。

なかでも冷蔵庫は年間を通して電気を多く使うとのことで、冷蔵庫を壁から離

す、温度設定を中から弱にする、ものを詰め込みすぎない、ムダな開閉をしない、開けている時間を短くするなどを実践することで年間約6000円の節約になるとし、「最近の冷蔵庫は10年前の冷蔵庫より消費電力が65%ほど改善されています。買い替えも考慮してみてください」。

また照明に関しては「不要な明かりはこまめに消すことを勧め、白熱球をLED電球に変えると消費電力は6分の1に、寿命は40倍になると説明。待機電力を減らす方法として、こまめにコンセントを抜く、省エネ型の凍結防止帯を使う、保温便座の設定温度を下げる、などを紹介しました。最後に「光熱費を月ごとに出し、年間どのくらい使っているか明らかにしましょう。意識すれば20%減らすことは可能です」と呼びかけました。

参加した市内生塚の大井幸代子さん、緑が丘の保科美保子さんは、「大変勉強になりました。帰宅したらさっそく実践したい」と話していました。

うえだ 環境市民会議 News

第40号

ニュース

うえだ環境市民会議の活動には、誰でも、どのプロジェクトチームにも参加できます。参加ご希望の方は、生活環境課までご連絡ください。豊かな環境を未来に残すために、一緒に活動しましょう。

この情報誌は自治センター、公民館、図書館、情報ライブラリー、市生活環境課の窓口で配布しております。

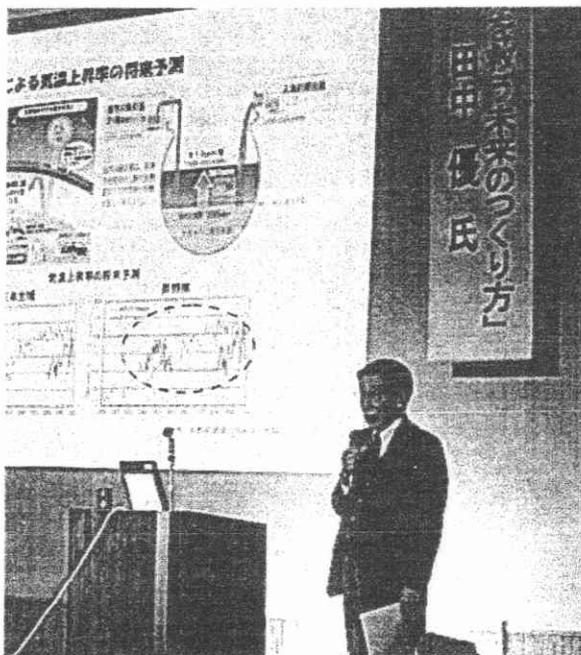
発行：うえだ環境市民会議

〒386-8601 上田市大手一丁目11-16
上田市生活環境課内

電話：0268-23-5120

FAX：0268-22-4127

E-mail seikan@city.ueda.nagano.jp



▲自然エネルギー上小ネット 宇野氏の発表

自然エネルギー上小ネット

宇野親治

自然エネルギー上小ネットは今年からの活動で、「省エネ出前講座」は平成25年度上田市わがまち魅力アップ応援事業として認められ、各家庭・企業の省エネのアドバイスを出前で無料で行います。

今回はうえだ環境市民会議設立10周年記念事業に参加させていただき、活動報告の機会を与えて下さりまして、感謝申し上げます。田中優さんの基調講演も自身の経験を踏まえた、分かりやすい内容で素晴らしかったです。私どももより一層、公民館・自治会・協議会・企業を通じて省エネ・CO₂削減に貢献してまいります。ぜひ気楽に申し込みをお待ちしております。また今後とも各団体の発表の機会をお考えいただくとともに、交流を深められれば幸いです。ありがとうございました。